



毎

反

TSFモンスター娘

成人向け R18

HEART OF GOLD

だがあと一撃をえ  
与えられれば...

くっ...残るは  
我々だけか...

ゴオオオオ

これでは呪詛を  
もろとも浴びて  
しまいます!

お兄様!  
もう限界です!

守るべき街は既に  
壊滅した...  
ただ最後にお前を  
生かせるのなら!

いのちを救って!

お兄様!

ゴオオオ!

——？自後

お兄様…  
起きてくださいますか

あの日から続く

体の調子は  
いかがですか？

代わり映えのしない朝だ

——それは  
ほしめまじょうか



さあどうぞ

竜の呪いは  
人を怪物に  
変容させる

街の人々は皆  
怪物となり  
互いを食い合った

弟の力により  
かろうじて私は  
正気を留めたが

くう…♡



うっ

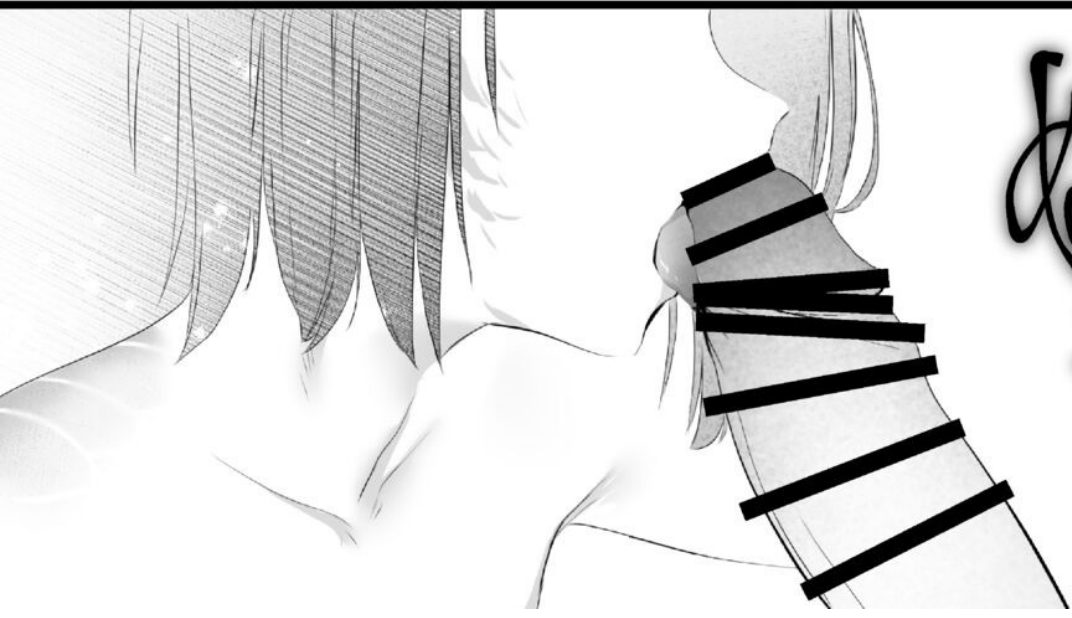
聖職者の精を  
取り込まなければ

心までも怪物に  
変わり果てるだろう

お兄様…！

お上手になりましたね…

ぬるお…





フツ  
フツ

ああ…!

これではすぐに  
達してしまいそうだ…

初めてのときは  
えずいてまともに  
受け入れられなかったのに…

…なんだ  
もう出るか?



フツ

どうか

いえ…  
その前に

好きなようにして

しほぬ…





あー

何度しても  
慣れない

私の口から出る  
覚えのない声

弟の喘ぎも  
荒れた呼吸も

身を貫く熱さも

肌がぶつかる音

粘つく汗が  
滴り落ちる音

知りたくなど

なかったのに

あー...  
あー...  
あー...

あー...  
あー...  
あー...

あー...  
あー...  
あー...

あー...  
あー...  
あー...

あー...  
あー...  
あー...

あー...  
あー...  
あー...





今日は一段と  
強く震えて  
いらした…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

まだ絶頂の余韻が  
後を引いています…♡

社の味を体が  
覚えてしまっているんですね



屈辱だ

—それでも…

あんなに可愛く…  
私を殺さなう！

何を言うんですか  
お兄様？

貴方を仕留めろと…

あゝそうか！

もはや我が身は  
災厄の種だ！

今の私を見る！

怪物はやがて竜となる！  
災禍は竜の呪いから生まれる！

それを止めるために  
怪物を切り捨てるんだ！  
騎士として…！

破魔の剣はもう  
私には持てない

お前がやるんだ！  
殺せ！私を！  
正気のうちに！

いやだ。

生き残った命は  
あなたも同じ

我が身をかけて  
あなたをこの地に  
縛りつけます

そのためなら

あなたを  
犯すことさえ

僕を一人にしないでください

お兄様

近所の家の遺品を整理していたら見つけたんです

美しい服ですね  
きつと持ち主は  
誇らしかつたでしょう

私を未だに  
兄と言いなから

大丈夫  
お似合いです

化物になった男に  
こんな服を着せるのか





……

肖像画など飾ってたり

犯しているのが女の穴と  
考えたりしてる

その相手が兄だと  
思っ出すばかりでは  
ないのか？

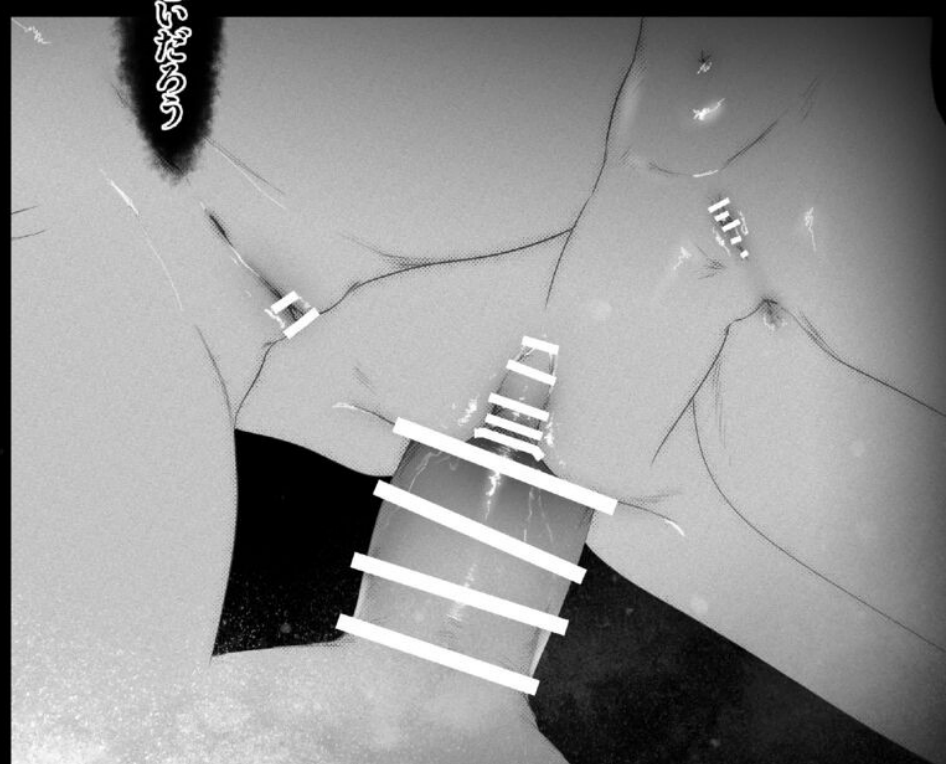


……？  
それが？

気分が悪いだろう



何を言ってるんですか？



気分が悪いだろう



神に値するよう  
生きなさい



神がこの子を  
正しい道へ  
導くでしょう



この子の髪の色は  
違う...そぐわない



そうだろう?



我々は兄弟だ



生まれを同じくして  
育ち別れようとも



あなたこそ

代え難い唯一の私の光だった



あなたに値するよう

はい

今度はこちらが  
お返しするべきだ

祝福を

私は騎士として  
お前は聖職者として  
なすべきことを成そう





幼い時分から  
僕はずっと



貴方を慕っていました

…は？



夢に見ぬ日はなかった  
貴方と共にあることを

ずっと

ずっと

ずっと

他の全てを失っても  
お兄様がいるのならば  
心は満たされます…

あの頃からお前は  
変わったのではなく

何だお前

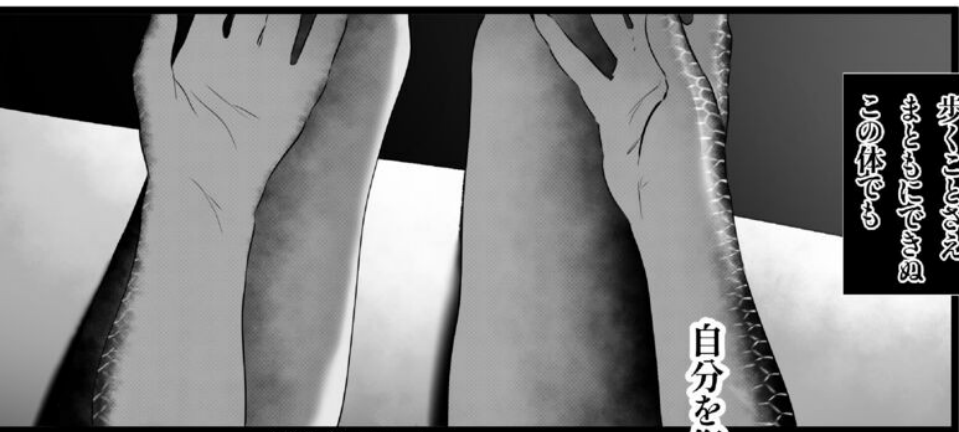
貴方を抱くのは  
我慢でも妥協でもない



愛しているからです

貴方がどんなに  
変わっても

この気持ちに翳りは  
ありませんでした



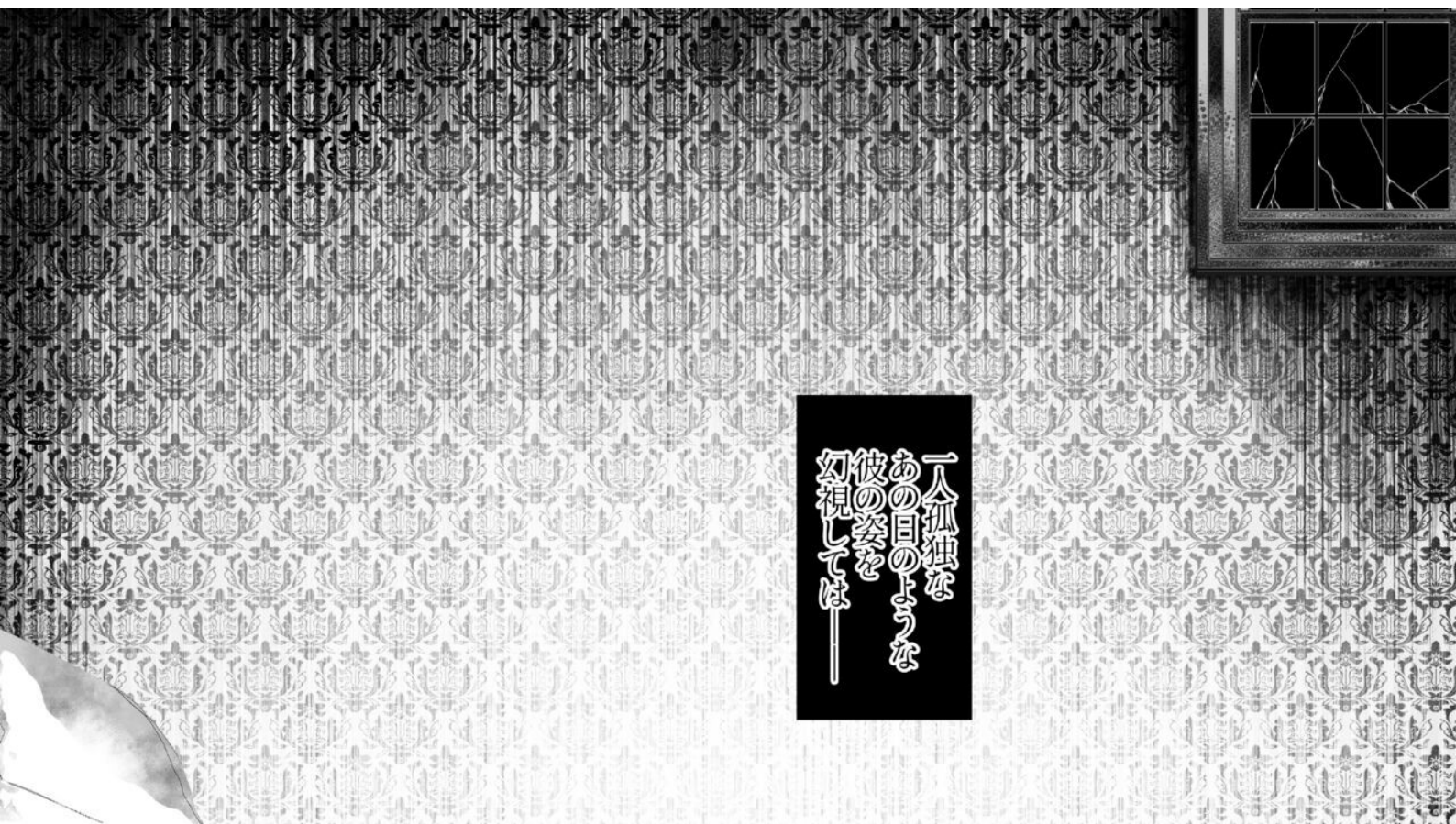
歩くペースを  
キミに合わせて  
この体でも

自分を傷つけ続ければ…

そう考えて



ときどき考える



一人孤独な  
あの目のような  
彼の姿を  
幻視しては――



また明日が  
来るのだ。





おまじない

おまじない





龍  
の  
舞  
②

EXE



おま  
③

おまじ  
舞 ④





樹  
身衣 5